



ほんかんえん
盤桓園 五葉の松、樹齢七百年

CONTENTS

- 令和5年度 通常総会開催 …………… 1
- 創立50周年記念式典(第1部) …………… 2
- 創立50周年記念式典(第2部) …………… 5
- 記念式典 会長挨拶 …………… 6
- 記念式典 知事・副議長祝辞 …………… 7
- 創立50周年記念式典(第3部) …………… 8
- 表彰者(会長表彰) …………… 11
- 造園協会日誌 …………… 11
- 造園協会日誌トピック …………… 13
- 催事案内 …………… 14
- 地区別会員マップ …………… 15



一般社団法人 滋賀県造園協会

しゅうけい
滋賀

No.129 令和5年9月発行

令和5年度 通常総会開催

一般社団法人滋賀県造園協会 令和5年度通常総会が6月16日(金)午後1時から、琵琶湖ホテルにおいて会員67名(委任状24名含む)の参加の中、開催されました。

はじめに、小西会長の挨拶があり、決議事項の2議案が満場一致で可決された後、報告事項等の説明と質疑応答が行われ、閉会となりました。

— 小西会長 通常総会挨拶 —

通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。協会の役員の皆様、又会員の皆様におかれましては、穏やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

本日は大変お忙しいところご出席頂き、また、日頃から造園協会運営にご協力頂き誠にありがとうございます。

先ず、本日の式典で会長表彰を受賞される方々、誠にありがとうございます。深く敬意を表わすと共に、これからも益々のご活躍をご祈念申し上げます。

当協会は、今年50年という節目を迎えることとなります。これも多くの諸先輩方からの長きにわたるご指導、ご支援、そして会員の皆様のご尽力の賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、令和4年度を振り返りますと、令和2年から続いた新型コロナウイルスの流行は、感染者の増加と減少を繰り返し、なかなか収まる気配が見えない状況の中、コロナ感染予防対策を行いながら、各地区活動等が実施されました。青年委員会では仕事に役立つビジネス知識を学ぶ「インボイス制度の概要について」や「労働災害の概要と発生時の対応について」の講演会等、技術委員会では、オンラインしごとチャレンジフェスタ「苔テラリウム」の動画配信教室が実施されました。

また、身近なところでは、コロナ禍において公園などの緑のオープンスペースの重要性を広く国民に再認識され、生活・行動様式や働き方に変化がみられる中で、私



達は造園業として緑の大切さ美しさを発信し、人々が健康的に働き、楽しめる生活基盤を創造する担い手として引き続き重要な役割が求められていると強く感じます。

さて、滋賀県造園協会が向き合わなければならない課題は多岐にわたり、SDGs・カーボンニュートラル・グリーンライフの推進といった新たな課題の他、担い手の確保・育成に向け建設キャリアアップシステムの対応、労働安全衛生対策の強化、時間外労働規制の建設業界への適応などにも適切に対応していかなければなりません。



そして、近年頻発する大規模自然災害に備えた防災・減災への対応、造園業界の技術力アップを図るための資格取得の更なる啓発推進、海外(ブラジル)日本庭園の保全・再生、2025年に開催される国民スポーツ大会の関連する造園修景工事、湖岸緑地の松枯れ対策等、次世代につなげる持続可能な滋賀県の景観を守り育てていくなど、実に多くの課題の対応は、一朝一夕には解決できません。

造園業の社会的使命を見据えながら、会員の皆様と共に一歩ずつ前進してまいりますので、引き続き一層のご支援ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、皆様におかれましては、健康に充分御留意して頂くと共に、企業の発展を御祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

造園協会 創立50周年記念式典

第1部 記念講演

一般社団法人滋賀県造園協会 創立50周年記念式典が令和5年6月16日(金)琵琶湖ホテルにおいて、通常総会後の午後2時から開催されました。式典第1部では、記念講演とパネルディスカッションが行われ、会員および従業員の方々73名が聴講されました。



記念講演

【記念講演】 14:00~14:30

— 演題 — 工夫する楽しさ

— 講師 — 山村文志郎氏
(一社)滋賀県造園協会相談役・花文造園土木代表取締役

【講師のプロフィール】
(創業 徳元元年) 花文造園土木 代表取締役
1971年03月 東京農業大学園芸学部造園学科 卒業
1971年04月 家業の花文造園土木に入社
1976年10月 花文造園土木株式会社 専任取締役就任
1986年09月 花文造園土木株式会社 代表取締役就任
1987年10月 株式会社東洋石園を設立 代表取締役就任

おもな役職
1990年05月 ~ 社団法人・職業訓練法人滋賀県造園協会 理事
2006年05月 ~ 2010年05月 社団法人・職業訓練法人滋賀県造園協会 第十代 会長
2016年06月 ~ 2021年05月 滋賀県技術士会 会長 (2期4年)

おもな受賞歴
2016年11月 賞状 賞章 受章
2021年11月 旭日章 受章



当協会の相談役で花文造園土木(株)代表取締役の山村文志郎様より「工夫する楽しさ」を演題として造園工事の施工実績3例が紹介されました。1例目は平成11年~12年に施工されたクスノキの移植工事を、2例目では文化財弘誓寺鐘楼修理にかかる工事を、3例目では安曇川町での陽明園の建設についての詳細説明があり、いずれの工事も造園技術をベースとし施工に工夫を凝らした、技能の重要性が伝わる講演となりました。

山村氏は最後に「技術技能とは、経験で築き上げるものであり、人が継承しなければ技能は消えると思う。技能を発展させようとするとき様々な工夫が必要」と締めくくられました。



講演される山村相談役

造園協会 創立50周年記念式典

第1部 パネルディスカッション

パネルディスカッション

【パネルディスカッション】 14:30~15:30

— テーマ — **時代が求める多様な造園**

パネリスト

(一社) 滋賀県造園協会 第十二代会長	小西 新次 氏
(社) 滋賀県造園協会 第六代会長	吉田 茂 氏
(社) 滋賀県造園協会 第八代会長	西川 勝 氏
(社) 滋賀県造園協会 第九代会長	熊本 喜一 氏
(一社) 滋賀県造園協会 第十代会長	山村 文志郎 氏
(一社) 滋賀県造園協会 第十一代会長	高木 淳一 氏
(一社) 滋賀県造園協会 技術委員会 委員長	堂本 英樹 氏
(一社) 滋賀県造園協会 青年委員会 委員長	高木 慎吾 氏

コーディネーター
びわ湖放送株式会社 (BBC)
キャスター 森田 恵奈 様

記念講演に引き続き、パネリスト8人とコーディネーターのBBCキャスター森田恵奈氏による「時代が求める多様な造園」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

パネリストは、小西会長をはじめ会長職を務められた吉田氏、西川氏、熊木氏、山村氏、高木氏と技術委員長の堂本氏および青年委員長の高木氏で、ステージで自身の思いや意見の交換が行われました。

最初にパネリストの方お一人お一人より「自己紹介と50周年を迎えての思い」を発言され、設立当時を知るパネリストの方からは、「設立会合で有識者の方々の活発な意見があったが設立は困難と思われた。」との当時の感想や、御尽力された方々への思い、造園会館竣工の喜び、資格取得・技能研鑽のための職業訓



練校の歩み、また、高度成長時代を経て現在も造園協会が存続している事に対して、会員方々に御礼を述べられました。

本題では、「時代が求める多様な造園」を題に討論が行われ、まずは、「今後の造園業が進む道」について2名のパネリストの方が意見を述べ「伝統を大切にしながら、時代が求めるものに柔軟に対応していく事が必要」とまとめられました。次のテーマでは「技術の伝承、若手の育成」の悩みについて、若手の技術・青年両委員長から、「和風庭園の作庭技術を継承する機会の創出」について「人材確保のために社員のモチベーションを上げる方法」について、先輩方の意見を求めました。2名の方より、技術の継承については、「経験が一番である。」との意見や「既存の庭園を研究すれば教えてもらわなくてもできるので勉強が大切である。」などのアドバイスがありました。人材の確保については、「造園の面白さ、素晴らしさ、カッコよさの発信が重要」の意見と「福利厚生を充実し働きやすい職場へ」との提案がありました。

まとめとして、相談役の1名より「滋賀県の造園技術は、全国でもトップクラスにあり、造園の原点は日本庭園であると思っている。技術の伝承には、機会の場所づくりが重要で、いろいろな組織を活用して技術を磨く事が大切で、造園協会の関わりとして技術伝承を協会事業の柱とすることも考えられる。また、協会が要望している都市緑化フェアの滋賀県開催は、その場づくりにもなると思う。」と締めくくられました。

最後に、参加会員の方々から発言をいただき、「50年を迎えたが、残していくものはどこかを見極める必要もある。事業者はこれからどのように変わっていくのか、変わっていけば良いのかを協会が示すべき。」とのご意見と、「緑を業とする者として誇りを持ってほしい。昨今は、人工的なものが多くなり、自然に見習う景色が無くなってきた。自然な緑・琵琶湖の形が造園協会の目指すところであり、仕事を確保する場所づくりにもつながるのではないか。」との提案がありました。



造園協会 創立50周年記念式典

第2部 式典



一般社団法人滋賀県造園協会 創立 50周年記念式典の第2部式典が、記念講演とパネルディスカッションに引き続き、午後4時から開催されました。

滋賀県から知事の代理で土木交通部長 三和啓司様、滋賀県議会からは副議長 有村國俊様、近畿地方整備局滋賀国道事務所 副所長 南良和様、近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 副所長 原田豊彰様 他、関係団体の多数のご来賓に臨席を賜り、開催しました。

はじめに、小西会長の挨拶があり、50周年記念式典開催にあたり、ご臨席いただいた来賓の方々への長きにわたる指導と支援、そして会員各位の理解と協力に対しての御礼を述べ、諸先輩の志を引き継ぎ協会の将来に向けての諸活動展開の思いを語りました。また、多くの課題は一企業、一地域では解決できず全県組織の造園協会の役割は益々重要であり、会員の皆様と協会活動に取り組むとの決意を述べられました。



ご来賓の皆様



小西会長から功労表彰を受ける受賞者の方々



小西会長から永年勤続表彰を受ける受賞者の方々

次に、造園協会の発展に功績があった功労者3名および永年勤続者4名に対しての会長表彰が行われ、表彰状および記念品授与の後に受賞者を代表して大江様より謝辞がありました。

続いて、ご来賓の滋賀県土木交通部長 三和啓司様が三日月知事のメッセージを代読され、滋賀県議会を代表して副議長の有村國俊様からご祝辞をいただきました。その後、司会よりご臨席いただいた来賓の皆様のご紹介と祝電が披露がされ、当協会への今後も変わらぬご支援ご指導のお願いがありました。

最後に、川島副会長からの閉会の言葉により第2部の式典が終了となりました。



川島副会長から閉会の言葉



協会創立50周年記念式典 会長挨拶

(一社) 滋賀県造園協会 会長 小西 新次

一般社団法人滋賀県造園協会の創立 50周年記念式典の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、滋賀県土木交通部長 三和啓司様 滋賀県議会 副議長 有村國俊様 滋賀国道工事事務所 副所長 南良和様 琵琶湖河川事務所 副所長 原田豊彰様をはじめ、ご来賓の皆様には公務ご多用の中ご臨席賜りまして誠にありがとうございます。

ここに創立50周年という記念すべき年を迎えることができましたことは、これも滋賀県土木交通部を始め、多くの関係機関並びに諸団体の皆様から長きにわたるご指導とご支援、そして会員各位の協会活動に対するご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

当協会は、昭和48年9月1日に公益社団法人として県の認可を受け、社団法人滋賀県造園協会として発足しました。

昭和47年は、国の第1次都市公園整備 5カ年計画が始まり、翌年昭和48年は琵琶湖総合開発事業が始動した年であります。

当時、経済の急速な高度成長や技術革新に伴い、日本の産業界は飛躍的な発展を遂げ、国民が物質的に豊かな生活を営めるようになったことは大きな喜びでした。しかしながら、高度成長の余波により工業化の道のりを辿りつつある滋賀県においても都市化・工業化が進み、自然が壊され住環境に変化が見られた頃、身近に美しい緑地や緑を元に戻そうという声とともに、緑に対する県民意識が芽生え、造園に対する期待も大きくなりました。その中、先人達が一致団結し、本協会を結成され又、建設業法の改正によって、土木工事から造園建設業を一つの独立した業種としての地位を確立し、技術の研鑽に努め、人材を育成し、幅広い方々からの業界に対する理解と信頼を得てまいりました。これまで力を合わせ活動して頂きました会員の皆様に深く感謝申し上げます。

ここに協会創立50周年を迎え、改めて諸先輩の志を引き継ぎ、社会を取り巻く環境変化に対応しながら、滋賀



県造園協会の明るい将来に向け、諸活動をさらに展開させなければならないとの思いを強くするところです。

今、私たち造園業に携わる企業は、公園や緑地に求められてきた機能である都市環境の改善と共に、都市防災力の向上や非常時でも安全に人がコミュニケーションをとれ、人が笑顔になれる場所、そんな公園や緑地を提案し、作り上げる事だと感じております。社会に貢献し、時代に必要とされることが、私たち造園業がこれからの社会に存在する大きな意味となると思います。

滋賀県は、日本一の湖（琵琶湖）を中心とした水郷地帯など平野部には豊かな農地が広がり、周囲の山々とともに里山景観を形成するなど、非常に豊かな自然環境にめぐまれています。安心して豊かに暮らすことのできる環境を後世に継承し、SDGsの目指す持続可能な社会の実現のため、現在の気候変動が地球規模で危機的状況であることを認識するとともに、今を生きる我々市民、事業者及び行政が一体となって環境に対する知識を高め、一人ひとりが積極的かつ継続的に行動することが必要です。

協会では、これからの時代のニーズを捉え、新たな活動領域を自から開拓していく気概を持ち、緑豊かな環境の重要性について各方面に働きかけ取り組んでまいります。そのためには、様々な課題に応えるように、先人達から引きついで造園技術、技能の継承とともに、それらを発展させていくことが重要です。これからも引き続き造園業界の技術力、企業力の向上、人材の育成に向け、協会として取り組んでまいります。

以上述べてきた課題の多くは一企業や一地域では解決できないものであり、全県組織としての造園協会の役割はますます重要となります。造園業の発展と社会的使命をはたすべく、会員の皆様と共に協会活動に取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

最後に、皆様の益々の御活躍をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

三日月知事 祝辞

滋賀県土木交通部長
三和 啓司 様



知事の祝辞を代読される
三和土木交通部長

本日ここに、一般社団法人滋賀県造園協会が創立50周年記念を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

造園協会の皆様におかれましては、昭和48年9月の創立以来、造園技術に関する豊富な知識・経験をもとに、造園技術者の技術研鑽・地位向上を目的とした取組、自然保護および公園緑地行政へのご協力など日々

真摯に取り組んでいただくとともに、自然の保護管理、公共造園の造成管理、住環境の美化緑化の普及推進に多大な貢献をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、本県では、滋賀の強みを生かしながら、「ひと」、「社会・経済」、「自然」全ての面で充足した「健康しが」を、皆様とともに作りあげていこうと呼びかけているところです。その一環として、心と体の健康づくりを目指し、全庁を挙げて、「魅力ある公園づくり」への取り組みを開始しました。人とひと、自然、地域とを結びつける「しがの公園」の価値・魅力をさらに高めたいと考えております。

造園協会のみなさまには、「健康しが」の実現・実感に向け、とりわけ、しがの公園の価値・魅力向上に対して、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、滋賀県造園協会の益々の発展と、会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

有村副議長 祝辞

滋賀県議会副議長
有村 國俊 様



有村副議長からの祝辞

本日ここに、一般社団法人滋賀県造園協会様の創立50周年記念式典が盛大に開催されるにあたり、滋賀県議会を代表いたしましてお祝いを申し上げます。

平素、皆様におかれましては、造園事業を通じ、本県の緑化推進や景観形成に多大な貢献を賜っておりますことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

そして、ただいま栄えある表彰をお受けになられた皆様、誠におめでとうございませう。皆様方の御功績と御貢献に対しまして、深く敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

さて本県は、琵琶湖を中心に、周囲を山々に囲まれた自然豊かな地であり、日本一の面積割合を誇る自然公園をはじめ、緑と触れ合える空間が暮らしの身近に存在し、県民の生活に潤いと安らぎをもたらしています。

今、こうして緑豊かな滋賀の街がありますのも、貴協会の皆様、長きにわたり緑化や公園の整備などを通じた環境づくりに多大な御尽力をいただいた賜物であり、これまでの御貢献に対しまして、改めて御礼申し上げます。また、このたび貴協会が創立50周年という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

本県では、コロナ禍において健康づくりの重要性が再認識される中で、身体と心の健康づくりに寄与する魅力ある公園づくりを進めることとしております。また、緑の空間は二酸化炭素の吸収源として、CO₂ネットゼロ社会への貢献も期待されるところでございます。さらには近年、自然災害が激甚化・頻発化しており、被害が生じた際には復旧作業も必要となってまいります。このような社会情勢において、造園・緑化・災害対応など様々な分野で、貴協会の果たされる役割は、ますます大きなものとなっております。

皆様方におかれましては、今後とも、安心・安全で緑豊かな環境づくりの担い手として、存分にお力を発揮していただき、本県のさらなる発展のためにお力添えいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

私も県議会といたしましても、皆様方の声を真摯に受け止め、豊かで魅力ある滋賀県を実現すべく、最大限努力してまいります。

結びに、貴協会の今後ますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を心より念じまして、お祝いの言葉といたします。

造園協会 創立50周年記念式典

第3部 祝賀パーティー

一般社団法人滋賀県造園協会 創立50周年記念式典の第3部祝賀パーティーが式典に引き続き、午後5時15分から開催されました。

はじめに、熊木相談役から開宴の言葉があり、「協会創立50周年を迎えたが、50年というその昔、織田信長は人生わずか50年と謡った、最近では100年時代と言われている。これからの60年・70年・100年造園協会をどう変えていくのかの話が本日の総会でもあったが、変わっていかねばならないのも事実である。変わる中でいろんな事を考えていく。時代は複雑・多岐であり知恵を絞りながら協会の運営をしていただきたく思う。また提案として、協会は技術集団と言いつつも、お互い話し合う機会が少なくなっている。廃校となった造園訓練校をもう一度、若い人の為だけでなく現役の皆様のお互いの勉強の場として活用ができないかと考える。」と今後の時代の変化に対して知恵を絞りながらの協会運営を期待している旨と会員がお互い話せる場・勉強の場の創出について

の提案を含めた挨拶がありました。

引き続き、「いにしへの調べ～舞楽と雅楽～」が披露されました。演者は、膳所の和田神社宮司 嶽山修平様他3名の皆様で、初めに神社のお祭りや結婚式などでよく演奏される代表曲の「越殿楽」を演奏され、次に嶽山宮司様による舞楽が行われました。



熊木相談役からの
「開宴のことば」



和田神社 奏和会様による「越殿楽」



和田神社 嶽山宮司様による「舞楽」

和田神社 奏和会

雅楽について

雅楽とは、日本古来の歌と舞、古代のアジア大陸から伝来した楽器と舞が日本化したもので平安時代中期にはほぼ今日のかたちで完成したと言われております。雅楽は千年以上の伝統を有し、世界の最も古い音楽文化財として歴史的価値をもつものです。

また、西洋音楽とは異なる様式や楽器による高い芸術的価値を備えており、和音と音組織に於ける高度の芸術的構成を感じることができます。

造園協会 創立50周年記念式典

第3部 祝賀パーティー



祝賀パーティーに入る前、相談役の西川様より乾杯の発声がありました。

「本日お越しいただいた国会議員様、各種団体の皆様へ御礼申し上げます。これから進んでいく造園の道は皆様のお力を借りないと造園協会だけではやっていけない。会員様の会社の益々の発展のため皆様と頑張っていきたいと思う。数は力なりとの言葉もある。60・70年に向けて間違いのないよう、真っすぐ皆が努力していきたい。」との言葉の後、乾杯の発声で祝宴が始まりました。

祝宴中には、造園協会の「あゆみ」として昭和から平成までの事務局に残る写真を上映し、懐かしい行事等の紹介をさせて頂きました。

また、祝宴途中には、参議院議員の小鍬隆史様から国会閉会後のお忙しい中、駆けつけていただきました。小鍬様からご挨拶で「今、東京から大津に着きました。50周年おめでとうございます。おかげさまでコロナもひと段落し、経済も順調に回復に向かっています。社会・住まいの状況も変わってきて皆様にはいろんな意味でご苦労しておられると思います。いろんな可能性・多様性を追求して技術を生かしていただく時代に突入していくと思う。造園業の皆様



小鍬参議院議員様からの御挨拶

のご努力に少しでも報いるよう頑張っていきたい。協会は70年80年と続いていくと思うが、本日が素晴らしい再スタートとなるよう共に頑張っていきたい。」とお言葉を頂きました。



西川相談役による「乾杯」



次に、相談役の吉田様より「今日は、総会から記念式典また祝賀パーティーまでご出席を賜りありがとうございます。そして開催にあたり造園協会のメンバーの方々やいろんな方々にお世話いただいてこの会ができたと思っております。皆様方に敬意を表したいと思います。これから新しく51年・60年・70年に向かって協会一丸となり頑張っていきたい。小西会長をはじめ執行部の方々には51年目から頑張っスタートを切っていただきたいと思います。」の言葉の後、参加者で万歳三唱が行われました。



吉田相談役による「万歳三唱」

最後に、50周年記念式典実行委員長の西村副会長より「今日は、多くの方々に造園協会50周年を祝っていただき有難う御座います。ご来賓の方々も多数ご参加いただき大変うれしく思います。

明日からは次に向けて造園協会のために頑張っていきたいと思っておりますので、会員の方々にはご協力をよろしくお願いいたします。」と挨拶され、終始和やかに盛会のうちに閉会となりました。



西村実行委員長からの「閉宴のことば」

創立50周年式典出席者の集合写真



令和5年6月16日 一般社団法人 滋賀県造園協会 於 琵琶湖ホテル

令和5年度 (一社)滋賀県造園協会

表彰者名簿 (敬称略)

● 協会功労賞 (会長表彰)			● 永年勤続賞 (会長表彰)		
西地区	大江 正人	(株)大江造園	東地区	西川 博章	近江花勝造園(株)
東地区	小田 浩	小田造園	東地区	上田 泰章	(有)裕花園
東地区	西村 裕史	(有)裕花園	東地区	福永 順也	(有)裕花園
			北地区	安田 文彦	(株)高木造園

造園協会日誌

1 月	
4日	仕事始め
6日	新春賀詞交歓会
6日	県庁関係各課新年の挨拶
17日	正副会長会議(第11回)
17日	地区長会(令和4年 第1回)
17日	50周年記念式典実行委員会 第6回
29日	出前フェスタ 南彦根 青年委員会
2 月	
16日	社会資本整備委員会(建産連)
21日	正副会長会議(第12回)
21日	50周年記念式典実行委員会 第7回
28日	災害対策委員会(建産連)

3 月	
2日	社会人講話 八日市南高校 青年委員会
8日	労保総コン担当者研修会
10日	相談役会
16日	正副会長会議(第13回)
16日	総務運営委員会(第3回)
16日	理事会(第5回)
17日	建設産業団体連合会(理事会)
20日	職業能力開発協会(理事会)
23日	50周年記念式典実行委員会 第8回
23日	緑地建設委員合同会議
24日	青年委員会全体会議(第2回)

造園協会日誌

4 月	
13日	職業訓練委員会会議(第1回)
18日	相談役座談会
25日	正副会長会議(第1回)
25日	令和4年度会計監査
25日	50周年記念式典実行委員会 第9回
28日	大津市長へ要望(都市緑化フェア)
5 月	
9日	講演会(これからの「みどり」を考える会) 造園協会協賛
13日	技能検定員研修会(東京)
16日	総務運営委員会(R5 第1回)
16日	理事会(R5 第1回)
16日	式典(パネルディスカッション)打合せ
18日	建設産業団体連合会(理事会)
23日	正副会長会議(R5 第2回)
23日	50周年記念式典実行委員会 第10回
26日	「特定家畜伝染病に伴う防疫作業」 功労に係る感謝状贈呈式
30日・31日	全国都市緑化フェア(仙台市)
6 月	
6日	技能検定委員合同会議(職能)
7日	令和6年度国・県予算編成に対する要望
7日	正副会長会議(R5 第3回)
8日	式典(パネルディスカッション)打合せ
8日	式典打合せ (B B C、宮司さん、琵琶湖ホテル)
16日	通常総会(令和5年度)
16日	50周年記念式典 第1部 記念講演
16日	50周年記念式典 第1部 パネルディスカッション
16日	50周年記念式典 第2部 式典
16日	50周年記念式典 第3部 祝賀パーティー
20日	労働保険事務組合 年度更新
23日	土木事務所協議(湖東土木)
23日	正副会長会議(R5 第4回)
23日	南地区 総会
30日	造園技能検定講習会(判断等)
30日	青年委員会(R5 第1回全体会議)

7 月	
3日	造園技能検定準備講習会(学科1日目)
4日	造園技能検定準備講習会(学科2日目)
5日	職業能力開発協会(理事会)
9日	造園技能検定試験(判断等)
20日	造園技能検定 実技会場整備
20日	職業訓練委員会会議(第2回)
21日	正副会長会議(R5 第5回)
25日	園芸装飾技能検定試験(実技 2・3級)
27日	造園技能検定準備講習会(実技1日目)
28日	造園技能検定準備講習会(実技2日目)
29日	造園技能検定試験(実技 3級)
8 月	
1日	滋賀県都市計画課協議(屋外広告物)
14日～	お盆集中休暇
16日	
20日	造園技能検定試験(学科 1・2級)
23日	造園技能検定試験(実技 1・2級)
24日	造園技能検定試験(実技 1・2級)
25日	けんせつみらいフェスタ説明会
25日	正副会長会議(R5 第6回)



◆代表者の変更(敬称略)

- 西地区 大島造園土木 株式会社
滋賀営業所
変更後 北崎 淳
変更前 宮脇 浩二
- 西地区 株式会社 他谷石材造園
変更後 他谷 誠
変更前 他谷 保
- 東地区 近江花勝造園 株式会社
変更後 西川 博章
変更前 西川 勝

◆社名の変更(敬称略)

- 南地区
変更後 中西宝山園 株式会社
TEL 077(583)3116 FAX 077(582)0783
変更前 株式会社 宝山園

◆入会(敬称略)

- 西地区 フクチ造園 福地 準次
住所 大津市坂本2-3-33
TEL 077(578)3450 FAX 077(576)5773
- 南地区 松花園 細居 禎浩
住所 湖南市岩根598-5
TEL 0748(70)6064 FAX 0748(70)6064
- 北地区 株式会社克建 嶋 克宏
住所 彦根市高宮町2144-1
TEL 0749(26)6723 FAX 0749(20)4952

◆訃報

- 北地区
滝川緑化 滝川とめの 様(滝川徹人様の御母堂)
(令和5年3月22日ご逝去)



造園協会日誌トピックス

●検定実技会場の整備

準備講習会と技能検定試験のため、職業訓練委員会のメンバーで造園技能検定実技会場(テクノカレッジ草津)の整備を行いました。



7月20日実技検定会場の整備(整備前の状況)



7月20日実技検定会場の整備(整備後の状況)



検定実技会場の整備状況(テクノカレッジ草津)

●検定準備講習会(判断等・学科)

今年度も、技能検定に向けて判断等(旧要素)の準備講習会、学科の講習会が開催されました。



6月30日の判断等の準備講習会の状況(最後に本試験の予行演習が実施される)



7月3日・4日の2日間、造園技能検定(学科)準備講習会が協会会議室で開催されました。今年度より井上先生に講義をしていただく事になりました。

●検定準備講習会(実技)

今年度も、技能検定に向けて実技準備講習会が2日間開催され、炎天下の中、講習会参加者(1日目7名、2日目8名)は、講師の指導を受け汗を拭いながら実技作業を行いました。講評では、検定試験までに練習を積むよう指導がされました。



7月27日の実技準備講習会(全員で講師の指導を)



7月28日講習会開始前の講師からの注意事項等説明状況

●「特定家畜伝染病に伴う防疫作業」功労感謝状贈呈式

今年の1月18日に西地区の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザでは、滋賀県との防災協定に基づき、動力噴霧器の貸与を行いました。

南地区の2社を含め、西地区を中心に合計10社で対応を行い、大きな感染拡大もなく収束に至りました。

5月26日に滋賀県が各団体・自治会への感謝状贈呈式を開催し、協会から辻井副会長と浅井地区長が出席しました。



5月26日 感謝状贈呈式(滋賀県庁危機管理センター1階にて)

催事案内

「滋賀けんせつみらいフェスタ2023」が開催される

9/23

建設業界は地域のインフラ整備やメンテナンス等の担い手であると同時に、地域経済・雇用を支え、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う地域の守り手という重要な役割をもつ。その事を発信し若年層や女性の建設業への入職意欲に働きかけるとともに、将来の担い手となりうる、より若い世代に対しても建設業の魅力を発信することで、現在及び将来の建設産業の担い手確保に寄与することを目的にこのイベントが実施されます。

今年度は、会場が希望が丘文化公園へ変更となりました。

— 記 —

- 主催** 滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会
- 開催日時** 9月23日(土) 10:00~15:00
- 開催場所** 希望が丘文化公園 スポーツゾーン
(JR野洲駅南口よりバスで10分)

けんせつみらいフェスタには、当協会青年委員会が「ハーバリウム制作体験」のブースを出展します。また、体験と合わせて造園業界のPR(ビデオ上映)も行う予定です。



ハーバリウム制作体験

令和5年9月現在



西地区 大津市 高島市

- | | | |
|--------------------------------|--|-----------------------------|
| (株)石定
TEL 077(592)0038 | 藤木商店(株)
TEL 077(573)2278 | (有)物歩堂
TEL 077(529)2820 |
| (有)イナダガーデン
TEL 077(598)2565 | 浅井造園
TEL 077(524)2990 | 雅涼(株)
TEL 077(537)3725 |
| (株)大江造園
TEL 077(574)1881 | 大島造園土木(株)
滋賀営業所
TEL 077(537)3107 | (有)松田造園
TEL 077(545)0781 |
| (株)川下造園
TEL 077(572)2329 | 小原造園土木
TEL 077(522)3076 | (株)吉田造園
TEL 077(578)0561 |
| 久保造園
TEL 077(598)3039 | (株)カワムラ
TEL 077(522)1764 | (株)植空
TEL 0740(25)3046 |
| (株)他谷石材造園
TEL 077(592)0058 | (株)阪口
TEL 077(545)3459 | (有)川島造園
TEL 0740(36)1139 |
| 築田造園
TEL 077(594)0459 | (株)辻井造園
TEL 077(578)0324 | 中村石材(株)
TEL 0740(36)1481 |
| 中塚造園
TEL 077(572)0450 | (株)庭創
TEL 077(579)2860 | |
| 藤井造園
TEL 077(573)1570 | フクチ造園
TEL 077(578)3450 | |

南地区 草津市 守山市 栗東市 野洲市 湖南市 甲賀市

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 近畿花壇(株)
TEL 077(564)5987 | (株)立入造園
TEL 077(585)3636 | ワシダ造園
TEL 077(587)3254 |
| (株)竹川造園
TEL 077(563)8332 | 田中造園
TEL 077(587)1535 | 奥村造園
TEL 0748(62)2633 |
| 竹村造園
TEL 077(562)1884 | (株)田中庭園
TEL 077(589)2884 | (有)小西造園
TEL 0748(83)0168 |
| 日本観光開発(株)
TEL 077(562)1049 | (株)中西園材
TEL 077(585)3909 | 西村造園土木(株)
TEL 0748(62)4391 |
| (株)松井緑地産業
TEL 077(564)4623 | 中西造園(株)
TEL 077(585)1809 | (株)花芳
TEL 0748(72)2155 |
| (有)松本ガーデン
TEL 077(568)0583 | 中西宝山園(株)
TEL 077(583)3116 | (株)サンウッド
TEL 0748(62)0284 |
| 山元造園
TEL 077(568)0709 | (株)吉仁園
TEL 077(585)3673 | 松花園
TEL 0748(70)6064 |

北地区 彦根市 長浜市 米原市 愛荘町 豊郷町 甲良町 多賀町

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 奥川造園
TEL 0749(38)2288 | (有)須賀造園
TEL 0749(43)5460 | 橋本農園
TEL 0749(28)0901 |
| (株)克建
TEL 0749(26)6723 | (株)高木造園
TEL 0749(24)2828 | 藤川緑建(株)
TEL 0749(35)2043 |
| (有)亀井造園
TEL 0749(24)2413 | (株)タガグリーンワークス
TEL 0749(22)5483 | (有)箕浦造園
TEL 0749(43)2976 |
| (有)川窪造園
TEL 0749(22)6939 | 滝川緑化
TEL 0749(48)1725 | 清水庭園
TEL 0749(63)1401 |
| (有)江州造園
TEL 0749(26)8179 | 那須緑地(株)
TEL 0749(26)3456 | |
| (有)三京造園
TEL 0749(23)3107 | 野瀬造園(株)
TEL 0749(22)2405 | |

東地区 近江八幡市 東近江市 竜王町 日野町

- | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 近江花勝造園(株)
TEL 0748(33)1230 | (株)吉井造園土木
TEL 0748(33)8905 | 花繁造園
TEL 0748(48)2934 |
| 小川造園
TEL 0748(37)6876 | (有)大橋創園
TEL 0748(42)3041 | 花文造園土木(株)
TEL 0748(48)4128 |
| 小田造園
TEL 0748(52)0651 | (株)熊本共楽園
TEL 0748(22)2288 | 布施造園
TEL 0748(48)3556 |
| (株)重野緑地建設
TEL 0748(46)2406 | (有)光葉園
TEL 0749(45)8112 | 双葉庭
TEL 0748(27)0884 |
| 大中造園土木(株)
TEL 0748(32)7074 | 造園 梶賀
TEL 0749(46)1440 | 増樹園
TEL 0748(55)5011 |
| 武尾造園
TEL 0748(33)6830 | (株)造園佐野
TEL 0748(42)1195 | 松居農園(株)
TEL 0748(48)2560 |
| (有)梅花園
TEL 0748(34)8192 | 庭 GOGOGREEN
TEL 0748(23)1410 | (株)武藤造園
TEL 0748(42)1093 |
| (株)三村造園
TEL 0748(46)2732 | 野田造園
TEL 0748(27)0177 | (有)裕花園
TEL 0748(48)8401 |
| (有)門野造園
TEL 0748(32)4046 | 花久造園
TEL 0748(48)2554 | |

一般社団法人 **滋賀県造園協会**
 〒520-0044 大津市京町3-1-3 (逢坂ビル3F)
 TEL : 077-524-5128 FAX : 077-524-3941
 E-mail zouen25@isis.ocn.ne.jp
 URL <http://shiga-zouen.net/>